

部課長級の職員の前で、およそ以下のような退任の挨拶をしました。

まだ、あるなと思ったら、あっという間にこの日が来てしまいました。最後はいい話をしなきゃと思っていましたが、今日まで慌てて後片づけに追われていて、まとまりのない話しになりそうです。お許してください。

自分は昔、民間企業を途中で辞めたことがあって、この時は、大好きな仕事だったのですが、辞めると決めた途端にモチベーションが出なくなってしまって、これでは自分も辛いし、会社のためにもならないと言うことで、上司と相談したうえで退職を早めてもらったことがありました。

今回は任期満了のためなのか、首長としての予定が次々と入ってくるせいか、最後までモチベーションはあったし、皆さんに支えられながら楽しく充実した毎日を送ることができたと思います。この12年間、東浦町長を務めて、得がたい経験をさせていただいたことを感謝しています。

はじめの1期目の頃は、自分の興味のあることや面白いと思うイベントや勉強会に積極的に参加して、自分の方向性に合致した考え方や事例を参考に東浦町で政策を実現していこうとしていました。夕方仕事を済ませてから東京で勉強会に出て最終の新幹線で帰ってきて、明け方まで資料をまとめて朝出勤するパターンもありました。

政策集で70項目以上の公約を掲げたのですからはじめはトップダウンでないと動きません。しかし、当然ながら、自分が納得しないと人は動かないし、トップダウンを続けていると、みんな指示待ちになってしまいます。

3期目は皆さんの自主性に任せて私はほとんど指示を出していません。若者会議と民間企業とのコラボ、コロナ川柳や骨折予防プロジェクトなどは、職員の中から出てきたアイデアです。また、複数の部署にまたがって仕事が進められるようになってきたし、民間との協働も進むようになってきました。同質だけの集まりではなく、異質がチームでともに仕事をするにより生まれる価値があると思います。

ワクチン接種を含めてコロナ禍で大変な時期をなんとか乗り越えられたのは、私ではなく、副町長をはじめ、皆さん方の力です。

ただし、まだまだ若い人たちの間から、新しいアイデアがあっても上司がやらせてくれないという声を聞いたりします。たしかに上司がもっともっとチャレンジを促すような環境にすべきではありますが、ここで気になるのは、さらにアイデアに磨きをかけた上で、上司を説得したかと言うことです。行動を起こす前にどうせダメだろうと言っているだけでは何もしないのと同じです。

やりたいことがあるのはとても結構なことです。今までと違うことをやるのはエネルギーのいることです。それだけにうまくいけば喜びは大きいです。ぜひ諦めずに挑戦してみてください。

さらに言えば、アイデアは何もないところから湧いては来ません。公務員同士また異業種で積極的に交流し、様々な考え方や事例を吸収する必要があります。読書も大事です。セミナーで

は質問するよう心がけ、勉強会のあとの交流会や懇親会に参加することをおすすめします。

説教じみてきましたが、今日が最後なのでもう少し言わせてください。

これからも、どうすべきか、どちらを選択すべきか、迷うような事案が発生することだと思います。物事には必ず正解があるわけではありません。私は迷ったら、何のためにやるのか、何が大切なのか、必ずそもそもの姿勢で、原理原則に立ち返って考えることにしています。その場しのぎの安易な答えを求めると、そのときは良くて後で思わぬ不都合が起きたりするものです。将来のいろんなケースを想定して想像力を働かせることも必要になります。

前例踏襲にも要注意です。「そういうものだ」と無批判に受け入れるのではなく、なぜそうしたのか、なぜそうするのかを何度も問い直して、時代の変化の中であるべき形に直していかなければなりません。

また、住民に対してもその場限りの対応はいけません。たとえ担当者が替わっても住民のみなさんとは役場として長い付き合いをすることになります。今この人が本当に知りたいことは何か、自分の説明は理解されているのか、相手の気持ちになって十分に対話する必要があります。できること、できないことははっきりと言うべきです。忙しいからと言っていい加減な対応をすればあとでトラブルになるかも知れません。それどころか信用を無くします。

私は仕事をする上で、あるいは生活をする上で、一番大切なもののひとつに信用・信頼があると思います。信用がなければ、人と人はコミュニケーションできないし、勿論取引もできません。ぜひ、職員の皆さんと住民のみなさんが信用・信頼の輪でつながって、住民のみなさんに役場のファンになってもらいましょう。

特にこれから、課題が山積する非常に難しい時代になるかもしれません。役所だけで解決できることではありません。当事者である住民のみなさんに対話し、一緒に協力し合って東浦町の地方自治を進めていただきたいと思います。

皆さんなら必ずできます。私も一住民として、日高新町長とともに役場の皆さんのご活躍を大いに期待しています。

最後に、退任したら何をしますので多くの人から聞かれます。時間ができれば、山やスキーや旅にも行きたいと思います。

それから、行政に携わって強く感じたことは、まちの主役は住民で、まちの元気はここに暮らす住民自身の活躍にかかっているということです。私は、公職や名誉職はするつもりはありません。自分も一住民、一プレーヤーとして、ビジネスや里山保全などの地域の活動に直接携わることができればと思います。自分だからできること、それが今やってみたい自分の役割かと思っています。

長い間、本当にお世話になりました、ありがとうございました。